

2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年11月12日

東

上場会社名 Chatwork株式会社
 コード番号 4448

上場取引所

URL https://go.chatwork.com/ja/

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員CEO (氏名) 山本 正喜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員CFO (氏名) 井上 直樹 (TEL) 03(6459)0514

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	2,315	-	△340	-	△342	-	△341	-
2020年12月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 △344百万円(-%) 2020年12月期第3四半期 -百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	△9.22	-
2020年12月期第3四半期	-	-

(注) 2021年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	3,139	1,639	49.5
2020年12月期	-	-	-

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 1,552百万円 2020年12月期 -百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年12月期	-	0.00	-	-	-
2021年12月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,368	38.9	△761	-	△764	-	△762	-	△20.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期 3 Q	37,124,187株	2020年12月期	36,880,640株
② 期末自己株式数	2021年12月期 3 Q	41株	2020年12月期	41株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期 3 Q	37,042,534株	2020年12月期 3 Q	36,612,754株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、継続的な事業成長の実現に向け、引き続き新規顧客獲得に向けた営業活動の強化、広告・マーケティング活動の強化、既存サービスの機能強化に積極的に取り組んでまいりました。また、当社の長期ビジョンであるビジネス版スーパーアプリの実現に向けたサービス拡張を目的として、Chatworkストレージテクノロジー株式会社を連結子会社化しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は2,315,518千円、営業損失は340,872千円、経常損失は342,056千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は341,599千円となりました。なお、先行投資として、採用が順調に進んでいることや、広告・マーケティング活動のさらなる加速により、営業利益以下の各段階利益がマイナスとなっております。

セグメント別の経営成績は次の通りです。

①Chatworkセグメント

Chatworkセグメントは、引き続き主力サービスである「Chatwork」の利点を訴求し、新たな機能追加と顧客の開拓に努めました。以上の結果、売上高は2,141,687千円、セグメント損失は391,443千円となりました。

なお、当セグメントが当社の主力事業であり、本社機能も含めて各間接費の全てが当セグメントの維持・拡大のために費やされていることから、間接費の全額を当セグメントにおける費用として計上しております。

②セキュリティセグメント

セキュリティセグメントについては、引き続き当社としては積極的な事業拡大は行わない方針としております。その結果、売上高は173,830千円、セグメント利益は50,570千円となりました。

なお、当セグメントのセグメント利益については、前述のとおり間接費を全てChatworkセグメントにて計上していることから、当セグメントの売上高より当セグメントに要した広告宣伝費、販売促進費及び業務委託費等の直接経費のみを控除した金額を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、3,139,123千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金1,360,415千円、のれん406,138千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、1,499,210千円となりました。その主な内訳は、前受金638,897千円、長期借入金382,500千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,639,913千円となりました。その主な内訳は、資本金1,462,055千円、資本剰余金1,447,915千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年第3四半期は、Chatwork課金ID数の伸長、課金体系改定、クラウドストレージ事業の買収等の施策により、売上、利益の全てにおいて前回開示した業績予想の上限近くもしくは上回る見込みとなりました。

売上高につきましては、第3四半期を踏まえ全体売上高は前事業年度比+38.9%、Chatworkセグメントの売上高は同+47.6%を見通しております。

業績見通しの詳細は下記の通りでございます。

売上高	3,368百万円	(前期比)	+38.9%
Chatworkセグメント 売上高	3,147百万円	(前期比)	+47.6%
売上総利益	2,357百万円	(前期比)	+33.4%
営業利益	△761百万円	(前期比)	—
経常利益	△764百万円	(前期比)	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△762百万円	(前期比)	—

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,360,415
売掛金	301,635
前払費用	405,435
その他	89,203
貸倒引当金	△411
流動資産合計	2,156,278
固定資産	
有形固定資産	57,909
無形固定資産	
のれん	406,138
その他	412,951
無形固定資産合計	819,090
投資その他の資産	105,845
固定資産合計	982,845
資産合計	3,139,123
負債の部	
流動負債	
未払金	264,145
未払費用	50,927
未払法人税等	9,099
前受金	638,897
1年内返済予定の長期借入金	102,000
その他	51,640
流動負債合計	1,116,710
固定負債	
長期借入金	382,500
固定負債合計	382,500
負債合計	1,499,210
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,462,055
資本剰余金	1,447,915
利益剰余金	△1,357,056
自己株式	△42
株主資本合計	1,552,873
非支配株主持分	87,039
純資産合計	1,639,913
負債純資産合計	3,139,123

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	2,315,518
売上原価	684,686
売上総利益	1,630,831
販売費及び一般管理費	1,971,704
営業損失(△)	△340,872
営業外収益	
受取利息	16
為替差益	1,240
雑収入	102
営業外収益合計	1,358
営業外費用	
支払利息	1,406
株式交付費	833
雑損失	302
営業外費用合計	2,542
経常損失(△)	△342,056
特別利益	
固定資産売却益	638
特別利益合計	638
税金等調整前四半期純損失(△)	△341,418
法人税、住民税及び事業税	2,924
法人税等合計	2,924
四半期純損失(△)	△344,342
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,743
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△341,599

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	
四半期純損失(△)	△344,342
その他の包括利益	
四半期包括利益	△344,342
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△341,599
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,743

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (注)
	Chatworkセグメント	セキュリティセグメント	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,141,687	173,830	2,315,518	2,315,518
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,141,687	173,830	2,315,518	2,315,518
セグメント利益又は損失(△)	△391,443	50,570	△340,872	△340,872

(単位：千円)

(注1)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(注2)当社における主力事業はChatworkセグメントであり、本社機能も含めて間接費の全てがChatworkセグメントの維持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatworkセグメントにて計上しております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第3四半期連結会計期間より、Chatworkストレージテクノロジーズ株式会社の株式を取得し連結子会社化としたことに伴い事業セグメントの整理を行い、従来「Chatwork事業」、「セキュリティ事業」としていた報告セグメント名称を、「Chatworkセグメント」、「セキュリティセグメント」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

Chatworkセグメントにおいて、Chatworkストレージテクノロジーズ株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、416,552千円であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1)企業結合の概要

①被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 Chatworkストレージテクノロジーズ株式会社
 事業の内容 クラウド型オンラインストレージ『セキュア SAMBA』の提供

②企業結合を行った主な理由

当社は、「働くをもっと楽しく、創造的に」をミッションに、「すべての人に、一步先の働き方」を提供するビジネスチャットの『Chatwork』を開発・販売しております。現在、中期経営計画に基づき、『Chatwork』を中期的には中小企業 No.1 ビジネスチャット、長期的にはビジネス版スーパーアプリとすることを目指し、「Product-Led Growth 戦略」、「Horizontal x Vertical 戦略」、「DX ソリューション戦略」に取り組んでおります。

本取引により、『Chatwork』の特徴であるオープンプラットフォームと親和性の高い『セキュア SAMBA』を『Chatwork』のサービスに組み入れることが可能になり、当社の長期ビジョンであるビジネス版スーパーアプリの実現に向けたサービス拡張に貢献する予定です。また、両サービスは主要顧客が中小企業という特徴を有しており、相互の顧客基盤の拡大による収益貢献、コスト効率化というシナジーが期待できると判断しております。

③企業結合日

2021年7月1日

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

⑤結合後企業の名称

変更はありません。

⑥取得した議決権比率

企業結合日に取得した議決権比率 51%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

(2)四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2021年7月1日から2021年9月30日まで

(3)被取得企業又は取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得に伴い支出した現金及び預金	453,900千円
取得原価	453,900千円

(4)発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれん金額

416,552千円

なお、のれん金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

②発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

③償却期間

10年間にわたる均等償却

(重要な後発事象)

該当事項はありません。